



Celebrating the 50th Anniversary of
Foreign Film Importer-Distributors Association of Japan

外国映画に
愛をこめて
外配協の50年

ロードショー と スクリーン

ブームを呼んだ外国映画



LET'S GO TO THE MOVIES!

N

F

C

NFC CALENDAR

大ホール(2階)

ロードショーとスクリーン
ブームを呼んだ外国映画

LET'S GO TO THE MOVIES!

Celebrating the 50th Anniversary of Foreign Film
Importer-Distributors Association of Japan

2012年7月11日(水) - 7月29日(日)

主催: 東京国立近代美術館フィルムセンター
一般社団法人外国映画輸入配給協会

電力事情など今後の状況により急速スケジュールが変更される可能性もございます。最新の情報は、当館ホームページ又はハローダイヤルにてご確認ください。

7月の休館日:

月曜日

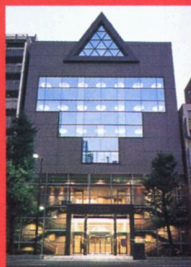
*7月30日(月) - 8月13日(月)は展示室は休室です。



1952-2012
60th Anniversary

東京国立近代美術館60周年を記念して、誕生日当日のご入場は無料となります(証明できるものをご提示ください)。

東京国立近代美術館フィルムセンター
National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo



2012

7

NFCカレンダー
2012年7月号

大ホール 上映作品

ロードショーとスクリーン
ブームを呼んだ外国映画
LET'S GO TO THE MOVIES!
Celebrating the 50th Anniversary of
Foreign Film Importer-Distributors
Association of Japan

一般社団法人外国映画輸入配給協会(外配協)の発足50周年を記念して開催中の展覧会「ロードショーとスクリーン 外国映画ブームの時代」に続き、フィルムセンター大ホールでは、主として1970年代から90年代に日本公開された外国映画のヒット作、話題作を特集する上映会「ロードショーとスクリーン ブームを呼んだ外国映画」を7月11日より開催します。1970年代には、破格の製作費を投じたパニック超大作からアクション、コメディ、ホラーまで、多彩なジャンルの外国映画が、趣向を凝らした宣伝を介して話題をふりまき、ときには流行語を生み出すほどの社会現象を巻き起こしました。また1975年には、大量に作られた洋画のプリントを全国に配給して同時に公開する「拡大ロードショー」が始まり、外国映画の配給収入が初めて邦画のそれを上回ります。一方、1980年代には個性的なミニシアターが次々と生まれ、既存の興行網では配給が困難なアート・フィルムの数々を紹介しながら、映画の鑑賞スタイルにも大きな変化をもたらすこととなります。

本上映会では、大ヒットを記録した『キングコング』(1976年公開)から、80年代ミニシアター・ブームの先駆けとなった『ジェラシー』(1981年公開)まで、計17本のフィルム上映を通して、我が国を席卷した外国映画のブームを振り返ります。

皆様のご来場をお待ち申し上げます。

- 監 督 原 作・原 案 脚 本・脚 色
- 撮 影 音 楽 出 演
- 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。
- 上映作品には全て日本語字幕が付いています。

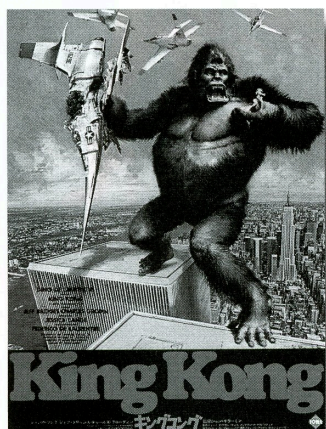
大ホール

開映後の入場はできません。
定員=310名(各回入替制)

料金は一般1,000円/高校・大学生・シニア800円/小・中学生600円/障害者(付添者は原則1名まで)、キャンパスメンバーズ650円(学生)、750円(教職員)

発売=2階受付

- 観覧券は当日・当該回のみ有効です。
- 発売・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切ります。
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
- 発売は各回1名につき1枚のみです。



1 7/11(水)0:00pm 7/22(日)1:00pm 7/24(火)3:00pm

大脱走 (173分・35mm・カラー)

THE GREAT ESCAPE

20世紀最大の娯楽大作が今ここに! 5大スターが叩きつける超巨篇!

1963年8月日本公開(UA配給)。第二次大戦の激戦中、厳重に管理されたドイツ軍の捕虜収容所から集団脱走を図った連合軍捕虜たちの活躍を描く。『荒野の七人』でステイヴ・マックイーンを起用したジョン・スタージェス監督がふたたび彼と組み、スターダムに押し上げた傑作。主題曲はあまりにも有名。



'63(アメリカ) 監 ジョン・スタージェス 配 ボール・ブリックヒル 配 ジェームズ・クラベル、W・R・バーネット 配 ダニエル・フアップ 配 エルマー・バーンズ 監 スティヴ・マックイーン、ジェームズ・ガーナー、リチャード・アッテンボロー、ジェームズ・ドナルド、チャールズ・ブロンソン、ドナルド・プリーセンス、ジェームズ・コバーン、ハンス・メセマー

2 7/11(水)4:00pm 7/21(土)1:30pm 7/29(日)10:30am

キングコング (134分・35mm・カラー)

KING KONG

1976年12月日本公開(東宝東和配給)。特撮映画の古典『キング・コング』(1933年)を、巨額の製作費と最新の技術でリメイクした超大作。20mの等身大コングを用いた撮影など公開前から多くの話題に包まれ、日本では175館で拡大ロードショーを敢行。その年の配給収入第1位を記録した。



'76(アメリカ) 監 ジョン・ギラーミン 配 ロレンソ・センプル・ジュニア 配 リチャード・クライン 監 ジョン・バリー 配 ジェンカ・ラング、ジェフ・ブリッジス、チャールズ・グロディン、ジョン・ランドルフ

3 7/11(水)7:00pm 7/19(木)4:00pm 7/28(土)2:00pm

カサンドラ・クロス (128分・35mm・カラー)

THE CASSANDRA CROSSING

生と死の分岐点カサンドラ大鉄橋へ暴進する大陸縦断超特急——そこで何が起こったのか!

1976年12月日本公開(日本ヘラルド映画配給)。細菌に感染した逃亡犯がストックホルム行きの大鉄橋列車に潜伏。だが、秘密の漏洩を恐れたアメリカ陸軍情報部は、列車を崩壊寸前のカサンドラ鉄橋へと誘導して事件を闇に葬ろうとする。国家の陰謀と1000人の乗客の運命を大スターの共演で描いた、1970年代パニック映画ブームを代表する1本。



'76(イタリア=イギリス) 監 ジョージ・バン・コスマトス 配 パート・カット、トム・マンキウィッツ 監 エンニオ・グアルニエリ 配 ジェリー・ゴルドスミス 配 パート・ランカスター、ソフィア・ローレン、リチャード・ハリス、エバ・ガードナー、マーチン・シーン、イングリット・チューリン、リース・ストラスバーグ

4 7/12(木)1:00pm 7/15(日)11:00am 7/27(金)7:00pm

コンボイ (114分・35mm・カラー)

CONVOY

動き出した——もう誰にも俺たちを止める力はない!

1978年6月日本公開(日本ヘラルド映画配給)。18輪トレーラーでハイウェイを走る男達と横暴な警官の衝突をきっかけに、権力への不満を募らせた各州のドライバーが集まり巨大な船団(コンボイ)を形成する。大型車両のスケール感が画面を揺るがす快作。アクション映画の巨匠、サム・ペキンパー最大のヒット作となった。



'78(アメリカ=イギリス) 監 サム・ペキンパー 配 B・W・L・ノートン 配 ハリー・ストラドリング Jr. 配 ジェリー・フィールドینگ 配 クリス・クリストファーソン、アリ・マックグロウ、パート・ヤング、アーネスト・ボークナイン、フランクリン・アジェイ、マジック・シンクレア

5 7/12(木)4:00pm 7/18(水)1:00pm 7/21(土)10:30am

ジュリア (118分・35mm・カラー) JULIA

何が起ろうとも大切にしたい!ただひとすじに友情を求めつづけた二人の女——

1978年6月公開(FOX映画配給)。女流劇作家リリアン・ヘルマンと反ナンチ活動に身を投じていく幼なじみジュリアの友情を、リリアンの恋人だったハードボイルド作家ダシール・ハメットとの関係も交えて描く女性映画。主演の二人は、ゴールデン・グローブ賞で主演女優賞、助演女優賞に輝いた。



'77(アメリカ) 監 フレッド・ジンネマン 配 リリアン・ヘルマン 配 アルビン・サージェント 配 グラス・スローカム 配 ジョルジュ・ドルリュウ 配 ジェーン・フォンダ、パネッサ・レッドグレイブ、ジェーン・ロバース、マクシミリアン・シェール

6 7/12(木)7:00pm 7/20(金)1:00pm 7/28(土)5:00pm

サスベリアPART2 (106分・35mm・カラー)

PROFONDO ROSSO

——約束です!決してひとりでは見ないで下さい……

1978年9月日本公開(東宝東和配給)。殺人現場を目撃して異常な犯人に狙われたピアニストが、独自の調査を進めるうち、古い館の壁に塗り込められた不気味な落書きを発見する。翌年製作の『サスベリア』と並ぶダリオ・アルジェントの代表作だが、日本では『サスベリア』の大ヒットが先行したため「PART2」のタイトルで封切られた。



'75(イタリア) 監 ダリオ・アルジェント 配 ベルナルド・ディーノ・ザッポリーニ 配 ルイジ・クベイレリ 配 ジョルジュ・ガスターニ 配 デビッド・ヘミングス、ダリア・ニコロイ、ガブリエレ・ラビア、マーシャ・メルリ、エロス・パウニ

7 7/13(金)1:00pm 7/15(日)5:00pm 7/26(木)7:00pm

Mr. BOO! ミスター・ブー

(100分・35mm・カラー)

半斤八兩 / THE PRIVATE EYES

なんでも笑ってごまかそうとする…お前は誰だ!どこから来た!

1979年2月日本公開(東宝東和配給)。ブルース・リーなどクンフー映画のイメージが先行していた香港から突如上陸したホイ三兄弟のドタバタコメディ。映画パロディも満載で、ソーセージのヌンチャクとサメの歯が対決するアクション・シーンでは当時の映画ファンに大きな衝撃をもたらした。「ミスター・ブー」は日本独自のネーミングで、その後香港にも逆輸入された。



'76(香港) 監 マイケル・ホイ 配 チャン・ヤオ・チュウ 配 サミュエル・ホイ 配 ロータス・リック、ホイ、テレサ・チュウ、リチャード・ウン、シー・キエン

8 7/13(金)4:00pm 7/21(土)4:30pm 7/24(火)7:00pm

エレファント・マン (124分・35mm・白黒)

THE ELEPHANT MAN

「真実」は——語りつくせないドラマを生んだ。

1981年5月日本公開(東宝東和配給)。生まれつきの特異な容姿から「エレファント・マン」と呼ばれ、軽蔑と好奇の視線にさらされた青年ジョン・メリックの実話を映画化。アカデミー賞主要8部門にノミネートされたデビッド・リンチの初上陸作品で、その年最高の配給収入を記録。本作のヒットを受けて急遽長篇第1作『イレイザーヘッド』も公開された。



'80(アメリカ=イギリス) 監 デビッド・リンチ 配 クリストファー・デ・ポア、エリック・バグレン 配 フレディ・フランシス 配 ジョーン・モリス 配 ジョーン・ハート、アンソニー・ホプキンス、アン・バンクロフト、サー・ジョン・ギールゴッド、デー・ウェンディ・ヒラー、フレディ・ジョーンズ

9 7/13(金)7:00pm 7/18(水)4:00pm 7/29(日)4:30pm

ジェラシー (122分・35mm・カラー)

BAD TIMING

世紀末のウィーンに生きた宿命の女ミレーナ! 鬼オニコラス・ローグが描く愛と憎しみと官能の日々

1981年12月日本公開(ヘラルド・エース配給)。デビッド・ボウイ主演『地球に落ちてきた男』のニコラス・ローグが、アート・ガーファンクルを主役に起用。奔放な娘と精神分析学者の破滅的な恋の行方を、時間軸を解体した複雑な話法で描いたサスペンス映画。1980年代ミニシアター・ブームの先駆けとなったシネマスクエアとうぎゅうのオープニング作品として公開された。

'80(イギリス)◎ニコラス・ローグ◎エール・ユドフ◎トニー・リッチモンド◎リチャード・ハートレイ◎アート・ガーファンクル、テレサ・ラッセル、ハーヴェイ・カイテル、デンホルム・エリオット



12 7/14(土)3:30pm 7/19(木)0:00pm 7/25(水)3:00pm

愛と哀しみのボレロ (184分・35mm・カラー)

LES UNS ET LES AUTRES

これがクロード・ルルーシュの映像シンフォニーだ! 構想5年、撮影1年、登場人物1万人 いま、映画は新しい第一章!

1981年10月日本公開(日本ヘラルド映画配給)。モスクワ、パリ、ベルリン、ニューヨークの四都市で、それぞれ過酷な戦争時代をくりぬけた芸術家たち。45年におよぶ年代記をダイナミックな構成で綴ったクロード・ルルーシュ渾身の大作。サウンド・トラックの3分の2を占める音楽、そしてジョルジュ・ドンが踊るラスト17分のボレロも圧巻。

'81(フランス)◎◎クロード・ルルーシュ◎ジャン・ポフティ◎フランス・レイ、ミシェル・ルグラン◎ロベール・オッセン、ニコール・ガルシア、ジェラルディン・チャップリン、ジェームズ・カーン、ジョルジュ・ドン、リタ・ホールブルド、ダニエル・オルブリフスキ、マリー・メリル



15 7/20(金)4:00pm 7/22(日)5:00pm 7/25(水)0:00pm

ストリート オブ ファイヤー

(94分・35mm・カラー) STREETS OF FIRE

ティーン女王がボンバーズに誘拐された! 忘れえぬ恋人を救出すべく(ミスティアスな腫の男)トム・コーディが帰って来た!

1984年8月日本公開(CIC配給)。ストリート・ギャングに拉致された人気女性ロッカーを救うため、かつて恋人だった男が故郷に帰ってくる。皮ジャンにカスタムカー…



西部劇のような物語をロック満載で描いたウォルター・ヒル監督による80年代風活劇。主役の二人とともに若き日のウィレム・デフォーが強烈な魅力を発する。1984年度『キネマ旬報』誌読者選出外国映画ベストワン。

'84(アメリカ)◎◎ウォルター・ヒル◎ラリー・グロス◎アンドリュー・ラズロ◎ライ・クーダー◎マイケル・バレ、ガイ・アン・レイ、リック・モラニス、エイミー・マディガン、ウィレム・デフォー、デボラ・ヴァン・ヴァルケンバーグ

10 7/14(土)10:30am 7/17(火)7:00pm 7/27(金)1:00pm

エンドレス・ラブ (116分・35mm・カラー)

ENDLESS LOVE

'82年新春—哀しむも、鮮やかな青春を贈ります。

1981年12月日本公開(東宝東和配給)。「ロミオとジュリエット」(1968年)のフランコ・ゼフィレリが、人気絶頂の美少女スター、ブルック・シールズを主演を迎え、十代の激しい恋を描いたラブ・ストーリー。ライオネル・リッチーとダイアナ・ロスのデュエットによる主題歌も大ヒット。主人公ディビッドの友人役で、トム・クルーズが映画初出演を飾った。

'81(アメリカ)◎フランコ・ゼフィレリ◎スコット・スペンサー◎ジュディス・ラスコー◎デビッド・ワトキン◎ライオネル・リッチー◎ブルック・シールズ、マーティン・ヒューイット、シャーリー・ナイト、ドン・マレー、リチャード・カイリー、ベアトリス・ストレイト



13 7/18(水)7:00pm 7/22(日)10:30am 7/27(金)4:00pm

ランボー (93分・35mm・カラー) FIRST BLOOD

1人 v.s. 1000人の闘い! '83新春アクション・ビッグ1のクライマックス!

1982年12月日本公開(東宝東和配給)。田舎町にふらりと現れた男が警官の暴行に反抗して山中に逃亡。ついには1000人の警官隊を相手に反撃を始める。シルベスター・スタローンが無敵のベトナム帰還兵を演じ、「ロッキー」に次ぐヒット・シリーズを生んだアクション映画。日本公開時のタイトル「RAMBO」はその後アメリカ本国でも採用されることになった。

'82(アメリカ)◎テッド・コッチェフ◎ディヴィッド・マレル◎シルベスター・スタローン◎マイケル・カゾル、マイリアム・サックハイム◎アンドリュー・ラズロ◎ジェリー・ゴールドスミス◎リチャード・クレナ、ブライアン・ドネイ



16 7/17(火)1:00pm 7/26(木)4:00pm 7/28(土)11:00am

フィールド・オブ・ドリームス

(107分・35mm・カラー) FIELD OF DREAMS

失ったものたちは帰ってくる—若き日の父に姿をかえて。

1990年3月日本公開(東宝東和配給)。不思議な声に導かれた一人の農夫が、とうもろこし畑の中に野球場を建設する。…そして完成した野球場にある日、一人の男が姿を表す。ゲイリー・クーバーの再来とも呼ばれたケビン・コスナー主演の野球ファンタジー映画の感動作。公開当時、淀川長治やおすぎをほじめとする映画評論家からも高い支持を集めた。

'89(アメリカ)◎フィル・アルデン・ロビンソン◎W・P・キンセラ◎ジョン・リンドレー◎ジェームズ・ホナー◎ケビン・コスナー、エイミー・マディガン、ギャビリー・ホフマン、レイ・リotta、ジェームズ・アール・ジョーンズ、バート・ランカスター



11 7/14(土)1:15pm 7/20(金)7:00pm 7/26(木)1:00pm

ハウリング (90分・35mm・カラー)

THE HOWLING

5分前は人間だった!

1981年6月日本公開(日本ヘラルド映画配給)。リアルな変身シーンが話題を呼んだ現代版の狼男映画。弱冠22歳のロブ・ボッティンが手がけた特殊メイクは、師・リック・ベイカーが参加する傑作の『狼男アメリカン』にも影響を与えたといわれる。ヒロインの女性キャスターを演じるのは、『E.T.』(1982年)でシングルマザー役に抜擢されたディー・ウォーレス。

'81(アメリカ)◎ジョー・ダンテ◎ジョン・セイルズ、テレンス・H・ウィングルズ◎ジョン・ホラ◎ビノ・ドンナ◎ディー・ウォーレス、パトリック・マクニー、デニス・チューガン、ジョン・キャラダイン、スリム・ピケンズ、ベリンダ・パラスキー



14 7/15(日)2:00pm 7/19(木)7:00pm 7/24(火)0:00pm

プロジェクトA (105分・35mm・カラー)

A計画 / PROJECT A

巨大な(謎)を秘めて—いま空前の“A計画”が動き出した!

1984年2月日本公開(東宝東和配給)。20世紀初頭の香港を舞台に、海上警察と海賊の闘いを描いたジャッキー・チェン10周年記念の超大作。地上25mの時計台からの落下など、サイレント喜劇にオマージュを捧げた超絶スタントは、それまでの香港製アクション＝クソのイメージを一新。エンドクレジットに流れるNG集も本作から恒例となった。

'83(香港)◎◎ジャッキー・チェン◎エドワード・タン◎チャン・ユイ◎ジョウ◎マイケル◎ライ◎サム◎ハン◎キンポ、ユン◎ピョウ◎ディック◎ウェイ◎イザベラ◎ウォン◎ラウカ◎クスン◎クワン◎ホイ◎サン



17 7/17(火)4:00pm 7/25(水)7:00pm 7/29(日)1:30pm

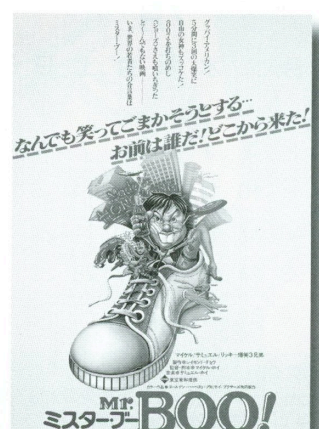
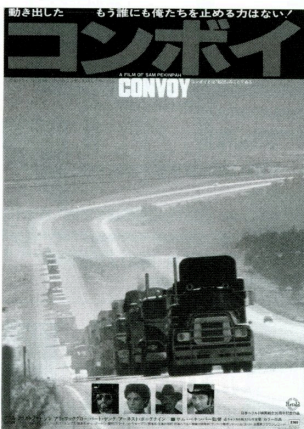
ターミネーター 2 (137分・35mm・カラー)

TERMINATOR 2: JUDGMENT DAY

あれから10年後の1994・ロス—運命を背負ったタイム・トラベラー達に審判の日は、近づいてくる!

1991年8月日本公開(東宝東和配給)。全能コンピュータに操られた機械と人類の死闘を描き、アーノルド・シュワルツェネッガーの出世作となったSF映画の続篇。人類の指導者となる少年のもとに新旧2体のターミネーターが送り込まれる。自在に姿を変形させる液体金属製の新型T-1000の描写は、コンピュータ・グラフィックスによる特殊効果の新時代を告げた。

'91(アメリカ)◎◎ジェームズ・キャメロン◎ウィリアム・ウィッシャー◎アダム・グリーンバグ◎ブラッド・フィデル◎アーノルド・シュワルツェネッガー◎リンダ◎ハミルトン◎エドワード◎ファーロン◎ロバート◎パトリック◎ジョー◎モートン



月	火	水	木	金	土	日
9	1 大脱走 0:00pm (173分)	4 コンボイ 1:00pm (114分)	7 Mr.BOO! ミスター・ブー 1:00pm (100分)	10 エンドレス・ラブ 10:30am (116分)	4 コンボイ 11:00am (114分)	
	2 キングコング 4:00pm (134分)	5 ジュリア 4:00pm (118分)	8 エレファント・マン 4:00pm (124分)	11 ハウリング 1:15pm (90分)	14 プロジェクトA 2:00pm (105分)	
	3 カサンドラ・クロス 7:00pm (128分)	6 サスペリアPART2 7:00pm (106分)	9 ジェラシー 7:00pm (122分)	12 愛と哀しみのポレロ 3:30pm (184分)	7 Mr.BOO! ミスター・ブー 5:00pm (100分)	
16	16 フィールド・オブ・ドリームス 1:00pm (107分)	5 ジュリア 1:00pm (118分)	12 愛と哀しみのポレロ 0:00pm (184分)	6 サスペリアPART2 1:00pm (106分)	5 ジュリア 10:30am (118分)	13 ランボー 10:30am (93分)
	17 ターミネーター 2 4:00pm (137分)	9 ジェラシー 4:00pm (122分)	3 カサンドラ・クロス 4:00pm (128分)	15 ストリート オブ ファイヤー 4:00pm (94分)	2 キングコング 1:30pm (134分)	1 大脱走 1:00pm (173分)
	10 エンドレス・ラブ 7:00pm (116分)	13 ランボー 7:00pm (93分)	14 プロジェクトA 7:00pm (105分)	11 ハウリング 7:00pm (90分)	8 エレファント・マン 4:30pm (124分)	15 ストリート オブ ファイヤー 5:00pm (94分)
23	14 プロジェクトA 0:00pm (105分)	15 ストリート オブ ファイヤー 0:00pm (94分)	11 ハウリング 1:00pm (90分)	10 エンドレス・ラブ 1:00pm (116分)	16 フィールド・オブ・ドリームス 11:00am (107分)	2 キングコング 10:30am (134分)
	1 大脱走 3:00pm (173分)	12 愛と哀しみのポレロ 3:00pm (184分)	16 フィールド・オブ・ドリームス 4:00pm (107分)	13 ランボー 4:00pm (93分)	3 カサンドラ・クロス 2:00pm (128分)	17 ターミネーター 2 1:30pm (137分)
	8 エレファント・マン 7:00pm (124分)	17 ターミネーター 2 7:00pm (137分)	7 Mr.BOO! ミスター・ブー 7:00pm (100分)	4 コンボイ 7:00pm (114分)	6 サスペリアPART2 5:00pm (106分)	9 ジェラシー 4:30pm (122分)

■作品によって開映時間が異なりますのでご注意ください。

展示室(7階)

【企画展】

ロードショーとスクリーン
外国映画ブームの時代

LET'S GO TO THE MOVIES!
Celebrating the 50th Anniversary of Foreign
Film Importer-Distributors Association of Japan
共催：一般社団法人外国映画輸入配給協会

4月11日(水)～7月29日(日)

*月曜日、6月18日(月)～25日(月)は休室

外国映画輸入配給協会の発足50周年を記念して、日本で大ヒットを記録した様々な作品を通じて、また華やかな大都市の映画街の様子を再現することで、外国映画配給の黄金時代を振り返ります。
*詳細は当該チラシをご覧ください。

【常設展】企画展に併設

NFCコレクションでみる
日本映画の歴史

Nihon Eiga: The History of Japanese Film
From the NFC Non-film Collection

映画の渡来した19世紀末から発展を続け、二つの黄金時代を経験した日本映画の豊かな歴史を、長年フィルムセンターが収集してきた多彩なコレクション(ポスター、スチル写真、雑誌、製作資料、業界資料、カメラなど機械類、映画人の遺品、映像など)によってたどります。日本映画史の新しい学びの場として、小学生から大人まで幅広い世代の方々を対象とする内容になっています。
(Captions in Japanese and English)

開室時間＝午前11時～午後6時30分
(入場は午後6時まで)

料金(企画展・常設展共通)＝一般200円(100円)／大学生・シニア70円(40円)／高校生以下及び18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)、MOMATパスポートをお持ちの方、キャンパスメンバーズは無料

- * ()内は20名以上の団体料金です。
- * 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示下さい。
- * フィルムセンターが主催する上映会をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

研究員による常設展ギャラリートーク

毎月第一土曜日12時より(休室の場合は第二土曜日)
今月の開催日：7月7日

図書室カレンダー

赤字は休室日

7月

月	火	水	木	金	土	日
					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

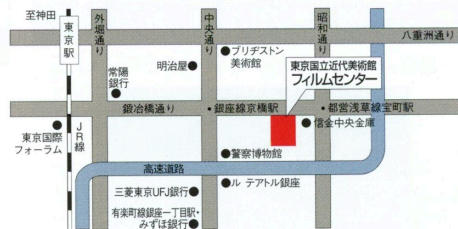
図書室(4階)

開室＝火曜日～土曜日(午後0時30分～午後6時30分)／入室は午後6時まで 閉室＝休館日および日曜日・祝日

2階受付では、「NFCニューズレター」(隔月刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルム・アーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。



東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通：
東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ：ハローダイヤル03-5777-8600

NFCホームページ：
<http://www.momat.go.jp/>

NFC携帯電話ホームページ：
<http://www.momat.go.jp/nfc/k/>

